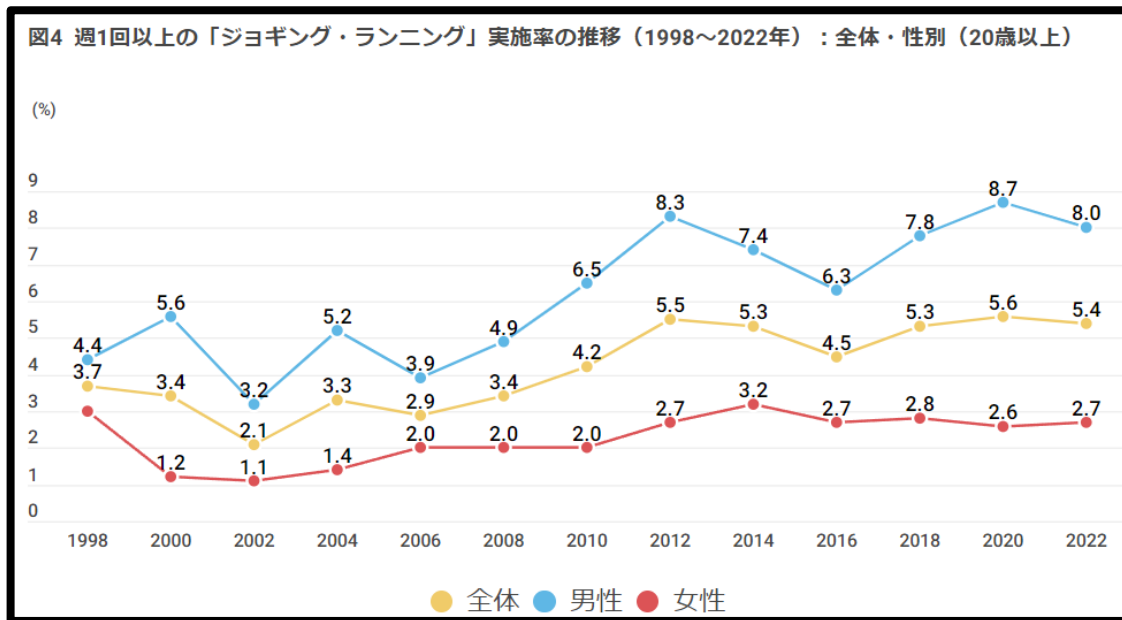


仲間と共に幸せを広める  
ソーシャルランニングサービス  
Let's all run together for someone!!

# 国内におけるランニング事情

- ・ジョギングの実施率(週1回以上)は2020年をピークにほぼ横ばい
- ・「走ること」に惹きつけられる大勢の人たちの存在



「走ること」が大勢に感動を与える



マラソン  
大会での  
募金活動



(参考) 「笹川スポーツ財団」

[https://www.ssf.or.jp/thinktank/sports\\_life/data/](https://www.ssf.or.jp/thinktank/sports_life/data/) (2023.10)

# 「ランニング」の新たな楽しみを提案

- ① ランニング習慣や活動エリアの近いユーザ同士のマッチング
- ② 仲間とのランニングで獲得したポイントが慈善活動とリンク

オススメ



ユーザID : R001  
ランニング歴 10年  
平均走行距離 4km



ユーザID : R08(自分)  
ランニング歴 8年  
平均走行距離 5km

ユーザID : R027  
ランニング歴 5年  
平均走行距離 1km

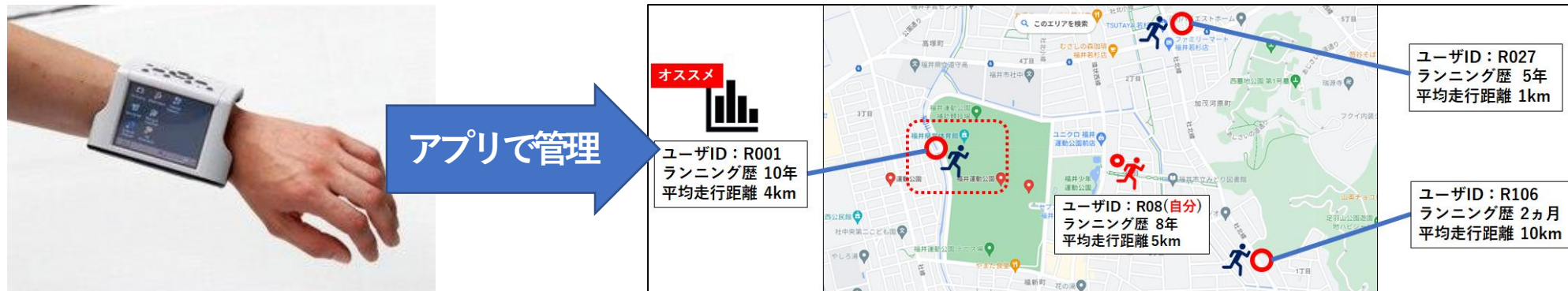
ユーザID : R106  
ランニング歴 2ヵ月  
平均走行距離 10km

# 「ランニング」の新たな楽しみを提案

## ① ランニング習慣や活動エリアの近いユーザ同士のマッチング

- ・ 時計型の端末でランニング記録を蓄積

【記録】日時・走行距離およびルート ⇒ (時系列/地理空間)クラスタリング



- ・ 生成されたクラスタから仲間の候補を利用者に提示
- ・ トモダチ申請による仲間づくり(ランニンググループの結成)

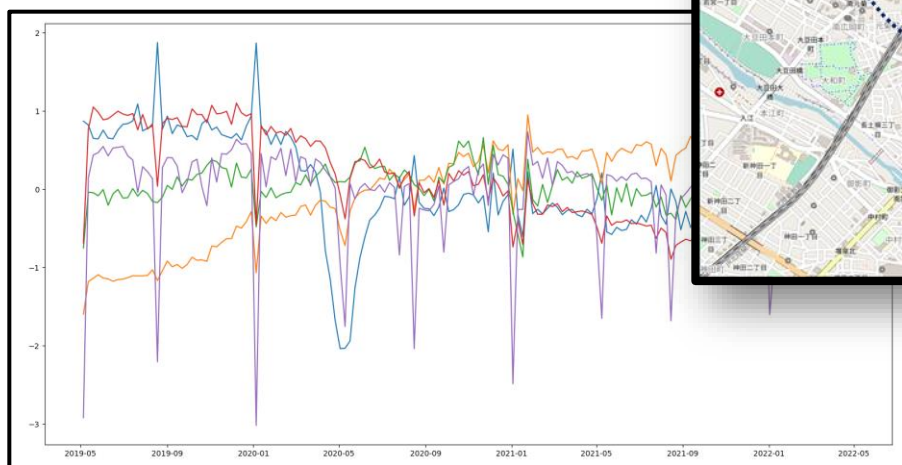


# 時系列/地理空間クラスタリングによるマッチング

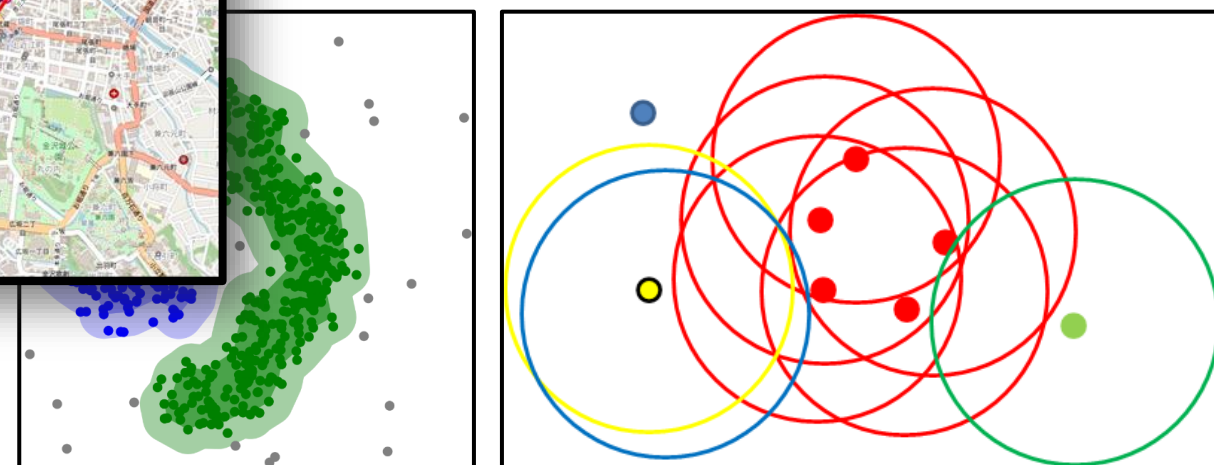
日付	ユーザID	開始時刻	終了時刻	開始(緯度)	開始(経度)	距離(km)	...
2023/10/1	10230005	10:00	12:00	36.2648	136.236	6.41023	
2023/10/1	10430002	18:00		36.180		7.50134	
2023/10/3	10360004	6:30		36.223		3.96725	
:							

“近い”対象の検出

時系列データ  
(k-means法)



地理空間データ  
(DB-SCAN法)



【引用】Wikipedia「密度準拠型クラスタ分析」

# 「ランニング」の新たな楽しみを提案

## ② 仲間とのランニングで獲得したポイントが慈善活動とリンク

- ・ランニンググループによる走行でポイントを獲得

### 【算出例】

走行時間 × 参加人数 × 10[pt/(h・人)] + 加算ポイント(距離により付与)

(例) 5人で2時間のランニング:  $2 \times 5 \times 10 = 100$  [pt]

- ・貯めたポイントでNPOやクラウドファンディングに寄付



# サービス・アプリのメリット

[利用者側]「仲間と共に推し進める慈善活動」により、

- ランニングの長期継続による個人の健康増進
- 自由度の高いグループ編成により、慈善活動に対するハードルの低下  
(例)地域のマラソン大会、企業による「通勤ラン」

[寄付受入団体]

- 寄付回数および募金額の増加
- キャッシュレス決済による募金活動コストの低下

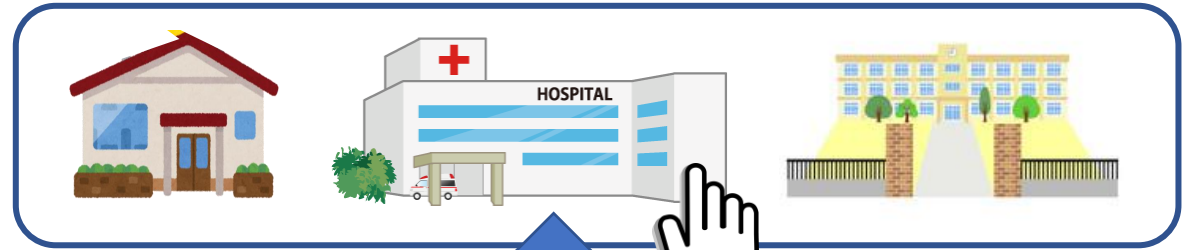
[自治体]

- 防犯効果に加え、「ランニング」を通じた地域振興

# マッチングからグループプラン～寄付までの流れ



アプリ入手  
インストール

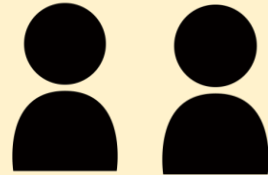


寄付先の選択

ランニング



マッチング



仲間探し～トモダチ申請



走行実績に応じた  
ポイントの獲得



グループプラン



# まとめ

## ・グループランを通じた「地域で走る楽しみ」の拡大



「走る」と仲間と目指す地域における助け合いの心

仲間と共に走った分だけ地域に幸せをもたらす

地域や企業とのコラボレーションの推進にもつながる